

緑のセンターたより

NO.123 平成21年6月1日発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ニセアカシア

Robinia pseudo-acacia マメ科 ハリエンジュ属

ニセアカシアの名は葉がアカシアに似ていることから、冠に「ニセ」がついてしまっているのですが、「ニセ」のアカシアとは可哀そうであります。ヒノキアスナロにならって「アスアカシア」がいい、いや、このままでいい、など一時学者の間でにぎやかに議論されたとのことです。

北米原産の落葉高木ですが、適応力が強く沖縄から北海道にいたるまで広く公園樹や街路樹として見られます。

このニセアカシアが初めて日本に渡って来たのは明治維新前でしたが、この時は育たず明治8年にふたたびやってきました。この頃に「明石屋樹」と呼ばれ、東京・日比谷公園に初めて植えられ、北海道には明治18年に街路樹として札幌に植えたのがはじまりです。ニセアカシアは札幌の街路樹の中では二番目に数の多い樹で、札幌はアカシアの街とさえいわれ詩歌にも歌われています。

和名をハリエンジュといい、若い幹と小枝には名のごとく刺があります。幹は太くなると針がなくなりますが、若い枝に刺があるのは、原産地に住む山羊などの食害から身を護るためにだという説があります。

開花期は初夏で、やわらかな緑の葉の合間に真っ白な蝶形花の房をたらし、よい香りをただよわせ、アカシア並木としても有名ですが、アカシアとは全く別種です。アカシアは同じマメ科の熱帯産樹木で、オーストラリア、アメリカ南部、東南アジア、アフリカなどに分布しますが、日本では温室内での栽培が見られます。

ニセアカシアは成長が早く、たくましく育つのでパイオニア・ツリーといわれたようですが、アメリカの西部開拓時代に、

新しい町が生まれると必ず、この木が植えられたことによります。どんな土質にもよく育つ強靭さを持っており、伐られたり、折られたりしても何度も萌芽する強さが乾燥した西部の風土にぴったりだったのです。その昔北海道の開拓地に導入されたのもこれが手本になっていたようです。

かつての緑化運動のなかで、材質が堅丈なことから土木用材や船舶材などを目的に、一時的に人工造林も行われましたが、ニセアカシア特有の「トゲ」が作業などに邪魔になることから嫌われ、その上萌芽力が旺盛なことからすっかり敬遠され、現在は森林造成の目的では植栽されていません。

花はミツバチの蜜源として、上質な蜂蜜が得られることから北海道の主要な蜜源植物になっています。用途としてはかつてのスキーチ、器具材、枕木、木クギ、薪炭などに利用されてきましたが、今では紅色の花が咲くハナアカシアや葉が黄緑色のオオゴンニセアカシアなどとともに街路樹として主に用いられています。 (T.K.)

「この道はいつか来た道、

ああ、 そうだよ、 あかしあの花が咲いている」 北原 白秋



6月の園芸

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

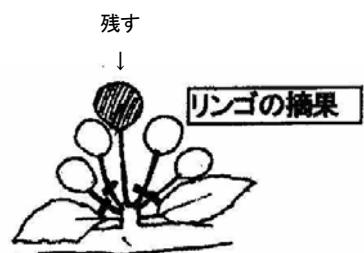
緑の相談受付	10:00～12:00, 13:00～16:00
☆豊平公園	811-9370 月曜以外毎日
☆百合が原公園	772-3511 木曜、日曜
☆平岡樹芸センター	883-2891 水曜、土曜

◆果樹の摘果

摘果は果物の品質向上だけに限らず、隔年結果の防止、樹勢衰弱防止、早期落下防止などを目的とした作業です。摘雷、摘花も同じような目的で行われる作業ですが、家庭果樹栽培では摘果だけが一般的です。摘果の方は、果実が大きく形の良いもの、病害虫の被害の無いものを残します。樹勢の強い枝には多めに着果させて枝の伸びを抑え、弱い枝には着果を少なめにします。

【リンゴ】

花後 15～20 日で、結実がはつきりしてきた頃、中心果を、1 花叢(一つの花芽から出た花と葉のかたまり)に 1 果残して粗摘果を行います。花後 30 日くらい過ぎると、果実の形、大きさがはつきりしてきますので、果叢葉の多いところを残すようにして、不良果を摘果します。普通、リンゴを 1 果太らせるには 40～50 枚の葉が必要で、中玉品種で 3～4 果叢に 1 果、大玉品種は 4～5 果叢に 1 果ぐらいが目安です。6 月下旬までに摘果を終わらせます。



【ナシ】

ナシは中心果が不正果になりやすいので、3、4 番果で、やや縦に長めの、果梗が太く長いものを残します。1 果を太らせるのに 40～50 枚の葉が必要です。枝の太さや品種によって多少違いが有りますが、大玉品種で 4 果叢に 1 果、中玉品種で 3 果叢に 1 果が目安となります。花が終わって 3 週間くらい(6 月中～下旬)に摘果を行います。



【モモ】

枝の中ほどから先に着いているもので、枝の下方か、側方に着いた果実を残します。花後 30 日くらいで大きくて、扁平な、形の良いものをやや多めに残しておき、花後 50 日くらいで仕上げ摘果をします。着果数は、果実のなっている枝の長さで決めます。長さ 30cm 以上の枝には 2 個、30cm 前後の枝には 1 個にし、10cm 以下の枝にはならせないか、4～5 本に 1 個とします。

【ブルーン】

いずれの品種も実が着きすぎるので、1 カ所に 2～3 果ついている果実を 1 つにし、枝の強弱や、全体の着果状況を見ながら、混み合っているところはさらに間引きます。1 回目を花後 25 日頃、仕上げを花後 40～50 日頃に行います。

【ブドウ】

結実後、すぐに摘房(果房を摘み取る)します。1 つの枝に大粒の品種で 1 房、中粒で 2 房程度残します。果粒の混み過ぎるものは、果房内の果粒を摘粒したほうが形や味が良くなります。

◆果実の袋かけ

多くの果実を食害するモモシンクイムシは、6 月下旬から 9 月にかけて成虫が発生～産卵し、そこから生まれた幼虫が果実内に侵入食害します。摘果後、成虫の発生前の 6 月下旬～7 月上旬までに、薬剤散布をしてから新聞紙で作った袋をかけて保護しましょう。



◆家庭菜園の石灰の入れすぎに注意!!

今春、家庭菜園の土壌検査を行いましたが、結果は「石灰の入りすぎた圃場」が7割以上、本当に「石灰が必要な圃場」は3%、「今年は石灰を入れなくても良い圃場」が2割あり、全体的に石灰が過剰に施用されていますので、石灰を施用する時は土のpH(土の酸度)を調べてから施用して下さい。

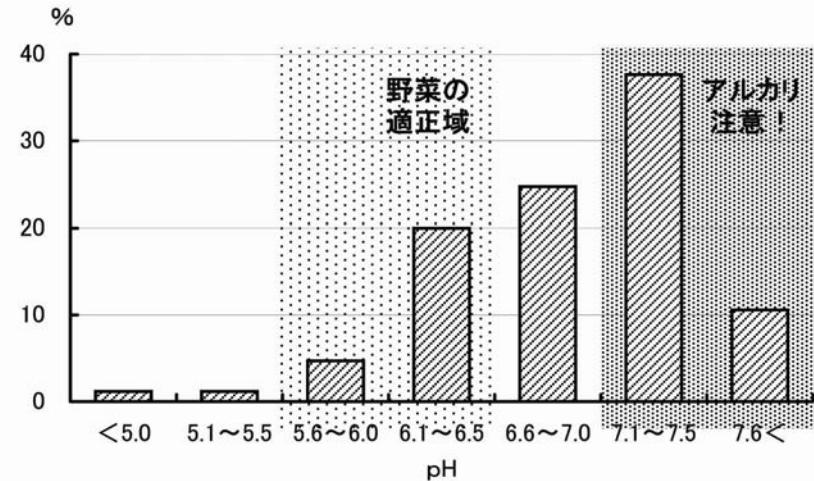
(園芸店などで600円~3,000円ほどで、土のpH(酸度)を調べる薬品、器具が販売されていますので、是非活用して下さい。)

石灰は土のpHを改善するため、pHを1上げるのに一般的に1m四方(深さ10cm)に200~300g施用しますが、土の種類により施用量が異なり、粒子の粗い砂土は50~100g、粒子の小さい粘土・有機物の多い土は400~500gです。

石灰が過剰になりますとマメ類は花が咲いても実ができなかったり、ホウ素欠乏(茎に亀裂が入る症状)などいろいろな生理障害が出てきます。また、馬鈴薯栽培ではソウカ病(薯の表面にガンベ状のカサブタができる病気)が多発したり、各種病気に罹りやすくなります。

※「緑のセンターだより'09年2月号参照

家庭菜園のpH (85点検査)



病害虫を知ろう! Part3 カイガラムシの巻

半翅目(カメムシ目) カイガラムシ類 (*Erysiphe* sp., *Sphaerotheca* sp.など)

《生態と種類》

ほとんどの庭木、多くの果樹のほか、観葉植物、洋ラン、サボテンなどに寄生します。この虫は種類が非常に多く、種類によって体形や習性が異なります。孵化したばかりの幼虫は扁平な楕円形で、足で歩行し移動しますが、生長とともに種類に特有の体形、色になっていきます。雌の幼虫は生長とともに足が退化し、幹や枝に一生固着するものが多いですが、その後再び足が生じて移動するものや足が退化せず一生動き回るものもあります。

主に、貝殻のような殻をかぶっているカタカイガラムシ、ロウ物質で体が覆われたロウムシ、体の表面が粉状の物質で覆われたコナカイガラムシやワタカイガラムシなどの種類があります。

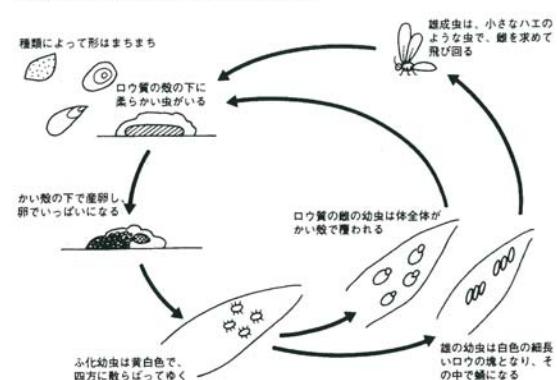
《被害の状況》

カイガラムシが寄生すると植物の幹、枝、葉などの汁液を吸うため、株の生育が悪くなります。また、虫が出す排泄物にすす病などが発生することも多く、観賞価値も下がります。

《防除法》

- 植物を購入する際はカイガラムシのついていないものを選びます。
- 枝が混んで風通しが悪くなると多発しやすいので、剪定を適切に行います。
- 冬に枝や幹についたカイガラムシは歯ブラシなどでこすり落とします。
- 農薬を使用する場合は、幼虫が少し大きくなると体が殻やロウ物質で覆われ、葉液が浸透しにくくなるため、孵化直後の時期に散布するのが効果的です。

■マルカイガラムシ、カタカイガラムシの生活環



6月～7月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
春のミニ盆栽を作ろう	6月7日(日)	13:30	5月12日～	材料費3,000円
花・野菜・庭木の病害虫防除	6月9日(火)	〃	〃	無料
春～夏の洋ランの管理	6月21日(日)	10:00	6月11日～	無料
果樹などの夏の病害虫防除	7月5日(日)	13:30	〃	無料
竹垣を作ろう！	7月12日(日)	10:00(3時間)	〃	材料費実費
洋ランの夏の栽培方法	7月12日(日)	13:30	〃	無料
展示会				
バラエティ盆栽展 春の風流盆栽展～小品盆栽会展～	6/5(金)～7(日)	協力：札幌盆栽会 札幌小品盆栽会	入場 無料	
斑入り植物展	6/6(土)～7(日)	協力：斑入り愛好会		
現代押し花アート展	6/9(火)～14(日)	協力：日本レミコ押し花学院		
ミニ盆栽展・山草展	6/12(金)～14(日)	協力：札幌草樹会		
あけび・籐 作品展 一自然からの贈り物一	7/7(火)～12(日)	協力：あけびつる工房 Rasen		
クラフト講習会				
あけび工房 あけびの吊りかご	7月8日(水)	10:00	6月11日～	2,000円
現代押花アート ポストカード	7月15日(水)	10:00	7月11日～	1,000円
園内自然観察会				
夏の観察会	7月5日(日)	10:00	6月11日～	保険代100円

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

園芸教室	日	時間	申込受付開始	参加費
実践！植物の植やし方(挿し木)	6月14日(日)	13:30	6月11日～	130円
バラの花後管理	7月12日(日)	〃	6月11日～	130円
展示会				
フクシア展	6/9(火)～7/26(日)		料金 入館料130円	
ハンギングバスケット展	6/16(火)～21(日)		〃	

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
マツ類の緑摘み	6月6日(土)	10:00	5月12日～	300円
小型庭木の移植	6月13日(土)	〃	〃	300円
木を小さくする	6月20日(土)	〃	6月11日～	300円
生垣の維持	7月5日(日)	〃	〃	300円
クラフト講習会				
サプライズフラワー・アレンジ教室 「緑と白のすがすがしいアレンジ」	6月4日(木)	10:00	5月12日～	2,500円

* ハーブフェア 6月16日(火)～28日(日)

ハーブディスプレイ
たくさんのハーブを展示します。
苗の販売コーナーもあります。

アレンジ押し花展
ハーブや色々なお花を使った、押し花作品の
展覧会です。

レカンフラワー展
押し花？ドライフラワー？
新しいタイプのお花のアートの
世界をご紹介します。

初めてのハーブ寄せ教室
6月28日(日) 13時30分
ハーブと花を使ってかわいい
寄せ植えをつくります。
参加費：材料費実費
定員：20名様
申込：6月11日から

ハーブティー試飲コーナー
爽やかな香りのハーブティーをご用意して
お待ちしております。ハーブを使った簡単
料理のレシピの紹介もあります。
期間中毎日(休館日除く)

アレンジ押し花講習会
【ハーブのある食卓】
6月19日(金)から全4回(毎週金曜日)
身近な日用品を押し花とハーブで
素敵に飾りましょう！
参加費：6,000円+教材費 定員：10名様
申込：6月11日から

スパイスボール教室
6月25日(木) 10時
飾ってかわいい、ナチュラル芳香剤。
クローブでスパイスボールを作ってみま
しょう！
参加費：2,000円(材料費込)
定員：20名様
申込：6月11日から

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

※「緑のセンターだより」バックナンバー公開中 ※